

■科目名			
生徒・進路指導論【他学部生向け】			
Understanding and Support to Students			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	心理学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2			前
■担当教員			
隈元 浩二郎			
■代表教員名及び連絡先等			
090-3415-5602（隈元）			
メールアドレス；kumamoto@kagoshima-h.ed.jp			
■オフィスアワー			
毎週水曜日、5限目がスタートする30分前（15：40）に講義室（前時が空き教室の場合）、もしくは理科棟教務係入り口前の非常勤講師控え室におり、講義準備をしています。			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
この講義は教員免許状取得のための「教職に関する科目」の中の【生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目】のうちの2単位となります。			
学校教育の中で、児童生徒に規範意識やしっかりとした倫理観を身につけさせることは喫緊の課題となっています。これらの課題を解決するためにも、生徒指導をはじめとする児童生徒の生活を支える指導の在り方を中心に学んでいきます。また、学校教育における不易的な側面と流行的な部分を見極め、これからの学校教育を支える人材に資する教員の養成を目指していきます。			
なお、講義形式を基盤としますが、内容等に応じて資料等のワークシートを活用したり、模擬授業やペア・グループ活動等のアクティブ・ラーニングなども用いたりしながら講義を展開していきます。			
■授業の到達目標及びテーマ			
・生徒指導、教育相談、進路指導（特別活動）等に関する教育の在り方全般について、その意義等を理解するとともに、実践につなげるための指導法の在り方や工夫・改善などについて理解することができる。 ・講義等を通じて教員となるための資質を確認していくとともに、自己改革や生活の見直し、己の資質向上につなげるなど、実践に移すことができるとともに、教師としての資質を身に付けることができる。			
■授業計画			
1. 教職の基礎・基本 2. 生徒指導と教育課程 3. 進路指導と教育課程 4. 生徒指導の意義と原理 5. 「生きる力」を培う学習指導と生徒指導 6. 児童生徒の心理と児童・生徒理解 7. コミュニケーション能力の育成 8. 生徒指導体制の確立 9. 指導と評価の一体化 10. 徳育に根ざした生徒指導の充実 11. 教育相談の意義とその進め方 12. 生徒指導の進め方 13. 生徒指導の実態と今後のあり方 14. 教師となるために 15. 確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
原則、復習を重視してほしい。知識として定着させることが、免許取得はもちろんのこと、教員採用試験にもつながります。なお、予習を必要とする際は、前時に必ず指示を出します。			
※ 前期は自宅待機等の場合、manabaシステムを活用し、課題レポートの提示も活用します。			
■受講要件			

■成績の評価基準

- ・毎時間、講義の終末に本時の内容に関する小テストを実施(2問程度)するとともに、講義から学んだことに関する感想文を書いてもらいます。この記載・提出を出席確認、並びに平常点(30%)として換算します。
- ・最終回の講義(15/15回目)で、確認試験(70%)を実施し、試験結果と上記平常点を合算し、成績を出します。

■教科書・参考書

教科書:「生徒指導提要」(平成22年3月・文部科学省)定価;本体276円+税(大学学生生協や甲南高校隣の公的機関等の出版物販売所で購入・注文することができます。)

■教師としての資質能力に関するチェック項目

1. 教職の意義(使命感・倫理観等)に関する理解

【A教職の理解】教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

4. 学校経営およびその課題に関する理解

【A教職の理解】学校経営およびその課題(危機管理等)に関する基本的な知識を身に付けており、学校運営の在り方等について構想することができる

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

7. コミュニケーション力

【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる

9. 学習者の心理・発達に関する理解

【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる

10. カウンセリングに関する理解

【C学習者理解】カウンセリングや教育相談についての基礎的な知識を身に付けており、それらの知識を学習者理解に活かすことができる

13. 生徒指導に関する構想力

【D構想力、展開力、評価力等】個々人の発達課題の把握や問題行動及びその対応等の理解を深めるとともに、積極的な生徒指導の在り方について構想することができる

19. 道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に関する理解

【E教科領域等の内容理解】道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教科以外の教育活動について、その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション;

アクティブ・ラーニング(その他)

特記事項なし

アクティブ・ラーニング(授業回数)

ペア討議・活動はほぼ毎回、グループ討議は3/15回程度を計画しています。

■実務経験のある教員による実践的授業

※講師本人が、現役の実務経験者(高等学校)です。

■その他

特記事項なし